

スタイリングコンセプトは上位機種であるCRF450Rと同じくMX Revolutionとし、4th Generation CRFを表現しました。コンペティションマシンの外装は、車体やパワーユニットなど他の機能部品と連動し、ライダーの操作、入力を支援することを意図して形作られています。したがって外装に現われた「新しさ」は、まさに機能や性能が向上したことを物語っています。

- **Compact plastics size**

ジャンプ中でも扱いやすい必要最小限の外装部品

- **Mass centralization**

徹底したマス集中化による軽快で俊敏な動きへの寄与

- **Optimized ergonomics for smoother rider transition**

MM思想※によりダイナミックで自由なライディングアクションに対応

※MM思想:MMはマンマキシマム メカミニマムの略。人間を中心に考え機械部分を極小化し人間が使う部分の自由度を最大化していくHonda商品作りの基本思想。

外装部品のマス集中と重量低減により、スクラブ(ジャンプ時に速度を保ちながら車体を寝かすことで上方への慣性を逃がし、低く遠くへ跳ぶテクニック)など空中でのコントロール性をも向上させました。CRFシリーズの特徴であり、基本思想でもある「マス集中“トライアングルプロポーション”」を継承しながら、しなやかで鋭い矢のようなスタイリングで、鮮烈な印象を放ち、CRF450Rで洗練された機能を受け継いでいます。

